

監修 立命館大学 生存学研究センター 客員教授 長瀬 修

推薦 日本障害フォーラム (JDF)

社会福祉法人 日本盲人会連合

公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会

社会福祉法人 日本身体障害者団体連合会

社会教育ビデオ【一般向け】DVD 約24分

文部科学省選定

無関心ではいけない! 障害者の人権

障害者差別解消法を理解する



障害者差別の定義

- 障害を理由にした直接差別
- 障害を理由にしない間接差別
- 合理的配慮を怠った場合

企画意図

人は誰でも、老化によって足腰が弱ってきたり、視力や聴覚が衰えてきます。いつかは障害者と同じような不自由を感じる可能性があります。障害者に対して無関心ではいけない時代になってきているのです。

この作品は、現在、日本が取り組んでいる国連の「障害者の権利条約」批准に向けての要件である「差別解消法」への理解を深めてもらうためのものです。具体的に、視覚障害者、聴覚障害者、車椅子の方の日常を通して、障害を理由にした直接差別、障害を理由にしない間接差別、合理的配慮を怠った場合の差別について考えていくものです。

これによって、血の通った温かい人間関係を含め、誰もが不自由を感じない社会環境づくりこそが、障害者の人権を守っていく第一歩であることを訴えます。

作品の概要

① 人権とは?

人は誰でも生存と自由を確保し、各々の幸福を追求する権利があるが、障害者の方たちには、この人権が守られないことが度々起こっている。

② 障害者の権利条約

2006年12月、国連で、障害者も健常者も、人として当たり前の権利が認められ、尊厳を持って生活できる社会づくりを目指す「障害者の権利条約」が採択された。しかし日本では、まだ批准されていない。日本の現状を検証する。

③ 各障害者の人権について

日本に暮らす身体、知的、精神障害者を合わせると、約744万人。この中から視覚障害、聴覚障害、そして車椅子の方々の生活を捉えながら、それぞれの人権、合理的配慮について考えていく。

●視覚障害者の稲垣さんは、現在、会社を経営。ビルのエレベーターのボタンに点字シールを貼ったり、音声ソフトを活用してメールをチェック。「出れる人は、どんどん街中へ出て多くの人と触れ合って、理解してもらえる機会を増やす事が、最終的にはみんなが理解し合えることへとつながる」と語る。

●市役所の広報広聴課勤務の小出さんは、聴覚障害者である。手話の出来る職員が少ないことや、文字多重放送チューナーが普及しきれてないなど、不便は多い。「健常者、聴覚障害者、仲間として情報交換する事が大切です。」と語る。

●電動車椅子で毎日通勤している大村さんは、スペースを確保できる特急を利用。わずかな段差などで不自由を感じている。賃貸の自宅でも、車椅子で部屋を傷つけないように配慮する。「他の車椅子の人のため、(貸主から見て)悪い前例にならないような車椅子ユーザーでありたい」と心掛けています。

④ バリアフリー化の動き

バリアフリー新法が平成18年に施行され、ユニバーサルデザインの理念に基づいた施策も進められている。また、高齢者や身体に障害がある人達へのバリアフリー情報「らくらくおでかけネット」も提供されている。様々な取り組みによって、障害者への偏見、差別、人権侵害が理解されつつも、無くなったわけではない。誰もが不自由を感じない社会環境づくりこそが、その改善の第一歩であることを強く訴える。

推薦 日本障害フォーラム (JDF)

公益財団法人
日本障害者リハビリテーション協会

社会福祉法人
日本身体障害者団体連合会

社会福祉法人
日本盲人会連合

監修 立命館大学 生存学研究センター

客員教授 長瀬 修

企画・制作統括 高木裕己
演出 谷光 章

制作・著作

DVD [カラー24分]

ライブラリー価格 ¥65,000 +税

●お問い合わせ、お買い上げは……

(映) 有限会社 博映商事

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1丁目3番31

TEL. (092) 741-0306

FAX. (092) 741-6628